

令和6年度 結核医療関係者研修会

○2023年、日本の結核罹患率は8.1となり、2年連続で人口10万人あたり10を下回る“低まん延国”の水準です。一方、青森県の結核罹患率は5.9であり、全国の罹患率を下回っているものの、東北地方の中では最も高い状況が続いています。

○全国的な罹患率の減少は、新型コロナウイルス感染症による影響も考えられ、引き続き結核患者を支援する関係者の連携と地道な結核対策への取組が必要です。

○全国的な傾向として高齢の患者が多く、青森県でも70歳以上の患者が約7割を占めています。

★今回の研修会では、**公益財団法人結核予防会 結核研究所 対策支援部 保健看護学科**

科長 座間 智子先生に「結核対策における地域連携～高齢者と外国人対策の課題～」と題し、御講演いただきます。

★医療機関及び保健所からの情報提供、事例発表により、結核患者への支援について学びを深める内容を予定しております。

◎開催日時 令和7年1月18日（土）10時00分～12時00分

◎開催方式 オンライン（Zoomによる）



☞こちらの二次元バーコードからもお申込みいただけます。

◎参加費 無料

◎申込方法 参加申込フォームによる

（右記の二次元バーコードまたは、下記県庁ホームページにアクセスのうえ、お申込ください。）

県庁ホームページ

https://www.pref.aomori.lg.jp/soshiki/kenko/hoken/tuberculosis_kensyuu.html

◎申込期限 令和7年1月10日（金）

青森県庁 結核医療関係者研修会 🔍 検索

◎プログラム

10:00 開会挨拶

独立行政法人国立病院機構青森病院 院長 高田 博仁 氏

10:05～10:30 情報提供（質疑含む）

（1）「青森県における結核の現状と課題」

青森県健康医療福祉部保健衛生課 主査 千葉 りか 氏

（2）「当院における入院生活と退院支援」

独立行政法人国立病院機構青森病院 6病棟 對馬 直哉 氏

10:35～11:10 事例発表（質疑含む）

「保健所における結核患者への支援事例について」

（1）三八地域県民局地域健康福祉部保健総室（三戸地方保健所）

指導予防課 技師 三上 紗季 氏

（2）八戸市保健所 保健予防課 技査 佐々木 望 氏

11:10～11:55 講演（質疑含む）

演題「結核対策における地域連携～高齢者と外国人対策の課題～」

講師 公益財団法人結核予防会結核研究所 対策支援部 保健看護学科

科長 座間 智子 氏

12:00 閉会

主 催：青森県、独立行政法人国立病院機構青森病院

問い合わせ先：青森県健康医療福祉部保健衛生課 感染症対策グループ

（TEL：017-734-9141 FAX：017-734-8047）

※当日のお問い合わせ（Zoom接続等含む）については、

青森県健康医療福祉部保健衛生課（017-734-9141）までお願いします。